



ゆくて遥かに

平成 30 年 12 月 3 日 (月)

第 36 号

長野県松本深志高等学校長

3 年学年末考査、面談週間、学年クラスマッチ (11 月 27 日～30 日)

受験シーズンを目前に控え、3 年生は最後の定期考査となります。まずは卒業をしっかりと決めて後顧の憂いをなくし、入試に向けて深志の底力を発揮すべく、自分の伸び代を信じて、最後の最後まで諦めず

に頑張ってもらいたいと思います。1、2 年生は面談週間ということで 10 分短縮授業となり、火曜日は 2 学年、水曜日は 1 学年がクラスマッチを行いました。学年クラスマッチは、各クラスの代表による幹事会が企画・運営します。2 学年ではバド、バレー、バスケ、サッカーといった球技の他に、百人一首、大縄といった競技もあり、こちらも大いに盛り上がったようです。両日もとも天候に恵まれ、小春日和の中で様々な競技に汗を流しながら、クラス、学年の親睦を深めていました。結果は**2 年 1 組**、

1 年 3 組がそれぞれ優勝、面談があるということで、両学年とも時間内にきちんと終了したのは立派でした。

図書館ゼミ「異境滞在伝説」(11 月 28 日)



今回の図書館ゼミ(図書委員会主催)の講師は国語科の小林佐加栄先生。この日は面談週間中ということで部活動がない生徒が多く、なおかつ**世界 70 か国以上**を旅したという小林先生の話が聞けるとあって、今年度最多の 40 名を超える参加者がありました。エスキモーとの生活の様子や命の危険にさらされた話など、貴重な体験談は予定時間を超えて 1 時間に及び、その後さらに残った 10 数名の生徒との質疑応答へと続きました。まだまだ行きたい国がいくつもあるという小林先生、生徒からは続編を期待する声も上がったとか。

第 5 回全国高等学校ビブリオバトル 2018 長野県予選会 (11 月 23 日)

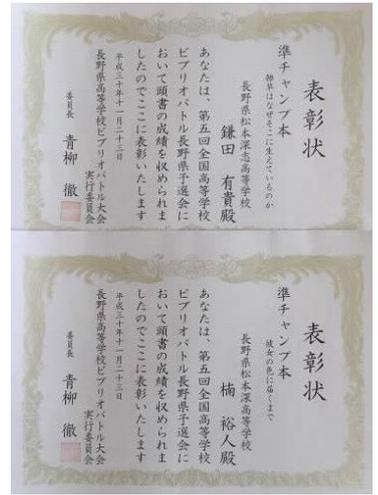
高校生がお薦めの本を紹介する書評合戦「マイナビ全国高校ビブリオバトル決勝大会」(活字文化推進会議主催、読売新聞社主管、マイナビ特別協賛)の県大会が、塩尻市の市民交流センターで行われました。地区代表 25 人が参加し、各自 5 分の持ち時間で推薦本の魅力を語り、聴衆が投票



↑ 2 年百人一首 ↓ 1 年準備運動「深志体操」

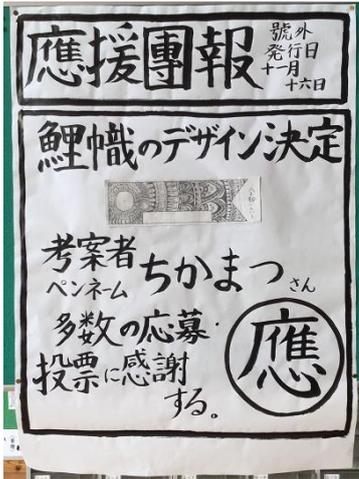


で最も読みたくなった本を選ぶ、という趣向です。本校からは3名の生徒
 が出場権を得て、結果2年の鎌田さんと楠くんが
 ベスト8に進出、準チャンプ本に選ばれました。



応管の声響く (11月~12月)

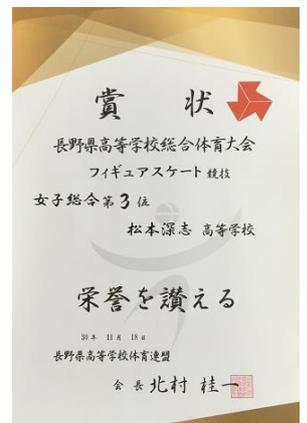
このところ毎朝、毎放課後、応援団管理委員会の
 の応援練習の音が屋上から聞こえてきます。冬に
 向かうこの時期、ちょっと季節はずれにも感じま
 すが、1年生の委員のテストを行っているのだそ
 うです。こうした地道な活動ぶりを見るにつけ、
 本校の自治は応管や生徒会の生徒たちによって、
 縁の下から支えられているのだなあという思いを強くします。ちなみに鯉



幟のデザインが公募だったことは、今回生徒昇降口に掲示された応援団報で初めて知りました。

その他の話題をいくつか

★ ちょっと前の話ですが、11月18日に行われた県高校総体**フィギュアスケート競技**で1年の小倉さんが見事3位に入りました。小倉さんは小学校1年の時にフィギュアを始め、6年生の時から本格的に競技として取り組むようになったそうです。本校には現在ウィンタースポーツに係る部活動はありませんが、社会体育のクラブに属し、練習会場は岡谷市、長野市、軽井沢町などのリンクを利用しているとのこと。2位までが全国大会ということで、来年度期待です。



★ 11月24日、深志28回の8組の皆さんが
 高校時代の担任であった山本伍朗先生のホーム
 ルームを受ける「42年目のホームルーム」が127番教室で行
 われました。23名の同級生の他に本校生徒も同席し、「伍朗ちゃん」の哲学や人生の話に耳を傾けました。この授業も今回で一区切りなのだそうです。

★ 本校2棟の屋上には天体



ドームがあり、地学の授業や地学会の活動に大いに利用されています。井口先生によれば、今年度ずっと観測できなかつた太陽の黒点が11月15日にようやく観測できたとのこと。

今週の予定 (B1)

日	曜日	行事等	その他(主に校長動向)
3	月	終始業式(短縮60分授業) 学年会	
4	火		県議と高校生との意見交換会
5	水	成績会議・職員会	
6	木		研修
7	金	一斉委員会	県庁深志会
8	土	ケンブリッジ英検	県高体連70周年記念式典
9	日		
10	月	(A2) 学年会	

